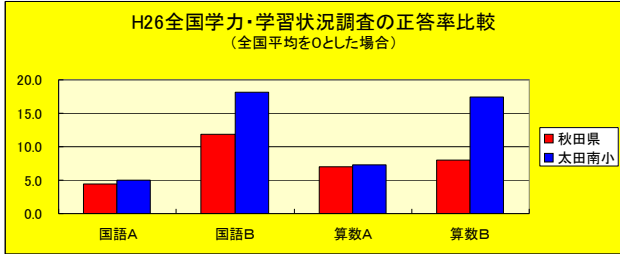
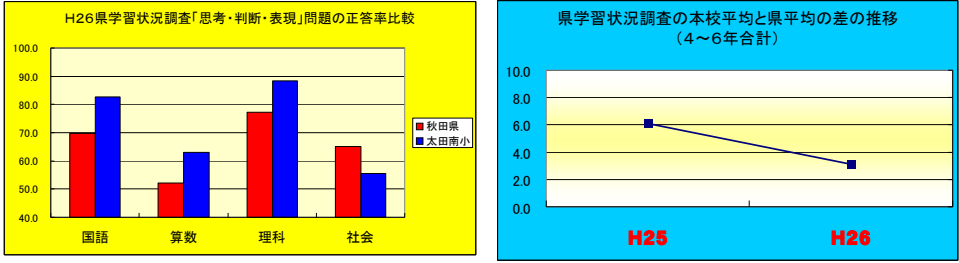


平成26年度学校評価シート（重点課題1 活用力の向上）

重点課題	活用力の向上	P
具体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県学習状況調査の「思考（考え方）・判断・表現」の本校正答率が、県平均を<u>8ポイント以上上回る</u>。 ・ 県学習状況調査の正答率が、県平均を<u>8ポイント以上上回る</u>。（H25：＋6.1P） ・ 県学習状況調査児童アンケートの「ふだんの生活や社会に出てから役立つように勉強したい」が、県平均を<u>3ポイント以上上回る</u>。（H25：－0.6P） 	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国学力・学習状況調査B問題に弱点がある。 ・ 複数の図表から問題解決に必要な情報読み取る問題に弱点がある。 	
目標達成のための方策	<p>本校では、「活用力」を「身に付けた知識や技能を実生活の場面で活用する能力」と共通理解し、「活用型の授業づくり」をとおして子どもたちの「思考力・表現力・判断力」の育成を図る。</p>	
具体的な取組	<p>※主な研究の視点⇒「活用型授業づくり」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各職員が、教科・領域・総合から研究教科（重点教科）を選択する。 ・ 「考える授業（太田南小型探究学習）」を充実深化する。→「めあて・課題」を「レッツ型」から「ハウツー型」へ ・ 年間指導計画を工夫し、重点教科で学期に1回程度「活用単元」を実施する。 ・ 算数の「コース別学習」を拡充する。 ・ 各界の専門家との「コラボ学習」を実施する。 ・ 新聞活用授業の推進→「朝日新聞で学ぶ総合教材『今解き教室』活用 	D
達成状況	<p>1 H26全国学力・学習状況調査結果</p>  <p>2 H26県学習状況調査結果</p>  <p>3 県学習状況調査で、各教科の「思考（考え方）・判断・表現」観点の本校正答率が、県平均より<u>8ポイント以上上回れば</u>おおむね良好</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国語：県平均69.8 → 本校82.7（＋12.9）・・・<u>きわめて良好</u> ・ 算数：県平均52.2 → 本校62.9（＋10.7）・・・<u>きわめて良好</u> ・ 理科：県平均77.3 → 本校88.3（＋11.0）・・・<u>きわめて良好</u> ・ 社会：県平均65.0 → 本校55.6（－9.4）・・・<u>不十分</u> 	

		<p>4 4～6年の本校正答率が、県平均を<u>8ポイント以上</u>上回ればおおむね良好</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語：県平均70.0 → 本校70.7（+0.7）・・・<u>不十分</u> ・算数：県平均64.8 → 本校70.6（+5.8）・・・<u>不十分</u> ・理科：県平均79.3 → 本校86.5（+7.2）・・・<u>不十分</u> ・社会：県平均67.4 → 本校60.3（-7.1）・・・<u>不十分</u> <p>5 「ふだんの生活や社会に出てから役立つよう勉強したい」で、「つよくそう思う」「そう思う」の割合が、県平均を<u>3ポイント以上</u>上回ればおおむね良好</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県平均94.6 → 本校100.0（+5.4）・・・<u>おおむね良好</u> 	
<p>教職員による自己評価</p>	<p>B</p>	<p>(根拠)</p> <p>○子どもたち同士で意見交換をしたり、新聞を活用しながら世の中の事象に対しての自分の意見や考えをふくらませたりして、「考える授業(太田南小型探求学習)」を進めてたことが向上につながった。</p> <p>○「活用型授業」の構築を目指して、学期に1回程度の「活用単元」を実施できたのは、非常によかった。特に、今年度本校では、沖縄県糸満市の小学生及び教職員を3日間受け入れる交流事業を行ったが、「活用単元」の授業の実施に、沖縄県の先生方から高い評価を受けた。</p> <p>○フォローアップ月間(年3回)を設定し、基礎・基本の底上げを図ることはもとより、活用力の向上も図ったことの効果が出ていると考えられる。</p> <p>▲「思考、判断・表現」観点の設問の通過率が向上した反面、その他の観点の伸びが思ったより少なかった理由を、各学年ごとに細かく分析し、今後の指導に生かす必要がある。</p> <p>▲「太田南小型探究学習スタイル」を充実させるには、「自分の考えをもつ」「適切に判断する」「周りの人に分かり易く説明する」能力を、授業において一層鍛えていく必要がある。</p>	<p>C</p>
<p>C・S推進委員による学校関係者評価と意見</p>	<p>(年度)</p> <p>A</p>	<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を参観すると、活用力育成に向けて、基礎・基本を超えたかなり高度な内容を取り扱っていることが見て取れる。 ・単に正解を出すだけでなく、「なぜそうなるのか?」と「考えさせる授業」づくりをしている教師の意図がよく分かる。 ・考えを引き出すための教材や教具の準備がすばらしい。特に理科でそのことを感じた。 	<p>C</p>
<p>自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・本校が取り組んできた「活用力の向上」については、一定の成果が上がっていると判断される。 ・活用力育成のため、「太田南小型探究学習スタイル」を一層充実させ、「自分の考えをもつ」「適切に判断する」「周りの人に分かり易く説明する」能力をさらに鍛える必要があると感じる。 	<p>A</p>

[評価基準]

A：具体的な活動がなされ目標を達成できた

B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない

C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない